

吉野の会 第38回例会

「天川道具講-地域をつなぐ道具-」

locpump

(幸家大郎建築研究所 幸家大郎 / 船橋工務店 船橋耕太郎)

道具講

私たちの生活にとって道具は欠かせないものです。私たちは道具をつくり、使い、自然のなかでさまざまな生活を営んできました。

「道具講」はそれら道具、人、自然の間にあるさまざまなネットワークを発見する思考実験です。

建築、インフラ、民家、家具、器具、雑貨、暦など、私たちの生活に関わる事物を一旦道具として捉え、そこに息づく多彩なネットワークを再発見します。

locpump

1. 天川村にて















2. 天川道具講

天川 道具講

天川むらづくり助成金事業

人は道具をつくり、道具を使い、自然の中でさまざまな道具とともに生活を営んできました。「天川道具講」では、天川村の生活の営みと道具との関わりをきっかけに、新たな道具の現代的意味を再考します。建築、民家、インフラ、家具、雑貨、楽器、そして暦など、これらを一旦道具として見つめ直すことで、道具、人、自然のなかに息づく多彩なネットワークを再発見できるのではないのでしょうか。

場所・・・・・・・・・・・・・・・・

天川村立資料館ギャラリーほのぼの

日時・・・・・・・・・・・・・・・・

8月1日（金）～9月27日（土）

午前10時～午後5時

定休：火曜日（祝日の場合は翌日）

主催・・・・・・・・・・・・・・・・

locpump（幸家太郎／船橋耕太郎）

協力・・・・・・・・・・・・・・・・

阪岡梯（天川村）

大阪市立大学大学院建築計画研究室

ブログ・・・・・・・・・・・・・・・・

<http://blog.livedoor.jp/tenkawadoguko/>

作品タイトル	制作者	道具	道具提供者	主旨
ヒュラノラ	locpump 大阪市立大学大学院	障子	阪岡悌（天川）	南日裏の空き家民家を、人の集まれる寄り場として再生しました。展覧会期間中はワークショップ等を企画しています。
マスキングウォーキン	locpump 大阪市立大学大学院	障子	阪岡悌（天川）	塩野集落のフィールドワーク記録。写真を赤でマスキングし、斜面集落の特徴を視覚化しました。ウォーキングが一層楽しくなるかもしれません。
もりたのたも	森田久勝（天川）	たも	森田久勝（天川）	山から探し出した二股の枝から制作した、たもの骨組み。網を取り付ければ、漁に最適なたもの完成です。
もりたのほうき	森田久勝（天川）	ほうき	森田久勝（天川）	とうきびを束ねて制作したほうき。数本を重ねてずらしながら束ねることで、掃きやすい形状と、長持ちする強度を追求しています。
もりたのちりとり	森田久勝（天川）	ちりとり	森田久勝（天川）	一斗缶を半分に割り、角を補強して制作したちりとり。通常のちりとりよりも強く、長持ちします。
もりたのこしかご	森田久勝（天川）	こしかご	森田久勝（天川）	人差しばり丸太制作のためのプラスチック片を通称「ナミシボ」といいます。木に取り付ける際、腰から下げるカゴを「こしかご」といい、そこに目一杯にナミシボを入れてみると・・・。
もりたのとんぼ	森田久勝（天川）	とんぼ	森田久勝（天川）	ナミシボは、木を頂部から降りながら取り付けます。とんぼに足をかけて降りてきます。
缶のひらき	locpump	一斗缶	森田久勝（天川）	一斗缶のちりとりも割り方、開き方でいろいろな形に変化します。ちりとりとは違う、別の何かに使えるかもしれません。
丸太しぼり	locpump	ナミシボ とうきび	阪岡悌（天川） 森田久勝（天川）	山に生えている木にくるくるとナミシボを巻き付けて、人工的にしぼり加工を施します。とうきびも一緒に束ねてみましょう。
ひらいてむすんで	locpump	打飼袋	森田久勝（天川）	打飼袋（うちかいふくる）とは、長方形の布を斜めに縫製し、袋にした道具。折り方によっては袋にならないこともありそうです。
宙ぶらりん	locpump	—	—	天川村には、はさ掛けが多く見られます。ここでもいろいろな物を干したり吊るしたりしてみましょう。
サイクル	locpump		天川村役場	天川村には毎年大勢のキャンプ客が訪れます。美しい自然を満喫できる一方で、ゴミの放置問題が深刻になっています。
たかのかた	locpump	たか	阪岡悌（天川）	タカと呼ばれる木の根っこ部分。膜で覆って型どりしました。
農具遊び	locpump としだゆい（zakka 温）	耕耘機のブレード ナミシボ・デシボ	五島農園 阪岡悌（天川）	農作業に使われていた道具の部品たち。役目を果たした後でも、こうして色々な表情が楽しめます。
まがるがまま	locpump としだゆい（zakka 温）	割り箸炭 ナミシボ	NPO木づかい倶楽部 阪岡悌（天川）	割り箸の炭は、成型前の状態に戻ろうとしているのでしょうか。ナミシボに熱を加えると、まるでコゴミのようにくるくるとまるまります。三角形の断面に秘密があるのでしょうか。
ここみちゃん	locpump としだゆい（zakka 温）	ナミシボ	阪岡悌（天川）	くるくると渦をまく様はコゴミを連想させます。お守り雑貨としての利用も可。
やまとろ	西村徳一	ヨギリの木っ端	西村徳一	ヨギリとは、木材伐採時にチェーンソーによってカットされる、くさび形の余剰部分（山に捨てられる）です。やまとろは樹齢300年相当のヨギリを利用した、什器です。まさに山のトロのようです。
ショッカーズブース	幸家太郎	ビニルハウス部材		農作業のハウス部材を使ってブースを制作。ショッカーのように伸びた触手には、弦を張りました。
ナビシボ	中川浩佑（中川弦楽器製作所）	ナミシボ	阪岡悌（天川）	竹ヒゴに取り付けたナミシボが風になびくと、カラカラカラと音を立ててにぎわいます。
ショッカク	中川浩佑（中川弦楽器製作所）	—	—	ショッカーズブースに取り付けられた弦は、風に吹かれて微量の音色を奏でます。
ロケットストーブ	幸家太郎（幸家太郎建築研究所）	—	—	ロケットストーブは、断熱された煙突効果により、少量の燃料でより多くの熱エネルギーを得られる道具です。
ロケットストーブ	森田久勝（天川）	—	—	農家でとれたお茶を煎るために、ロケットストーブを改良し制作しました。
金火鉢火巫女	松村賢治（松村建築研究所）	—	—	熱源の周囲に空気層（断熱層）を設けることで、火の起こりと火持ちの性能を向上させています。ステンレス製で耐久性は抜群です。
ポピュラー火巫女	松村賢治（松村建築研究所）	—	—	「金火鉢火巫女」の簡易版。ホームセンターで購入可能な材料を使用することによって、制作が容易になりました。
ドラム缶炭焼き窯 （松村式）	松村賢治（松村建築研究所）	—	—	ドラム缶を使った炭焼き窯です。展覧会期間中に窯制作・火入れ・炭制作を行います。
採蜜遠心分離機	阪口正（天川）	採蜜遠心分離機	阪口正（天川）	巣箱から引き上げた蜂の巣を、この遠心分離機にかけることによって、蜜を採取します。
ミツロウワーク	山本美紀子	蜜蝋	阪口正（天川）	天川で作られた蜂の巣から、わずかに採れる蜜蝋。その蜜蝋を使って、クレヨン・ロウソク・ハンドクリーム・木用ワックスを制作しました。
パチレフ	locpump	蜂の巣箱	阪口正（天川）	蜂の巣箱をバスレフに転用しました。本来蜂の放射熱を排気する口は、共鳴管として音を放出します。蓋をあければ高音、閉めれば低音を響かせます。箱の中に色々なフレームをしこめば、ビビッとハウリングが楽しめます。

「天川道具講」展示物目録













Handwritten label on the inside of the wooden box lid, containing text in Hebrew:

שמן
עמיל
(100-5
עמיל)





塩野集落

「河川沿いの集落」

塩野集落は、河川沿いに形成された集落で、河川の氾濫を防ぐために、河川沿いに堤防が築かれ、集落は堤防の内側に形成された。集落の中心には、河川沿いに形成された集落があり、集落の中心には、河川沿いに形成された集落がある。

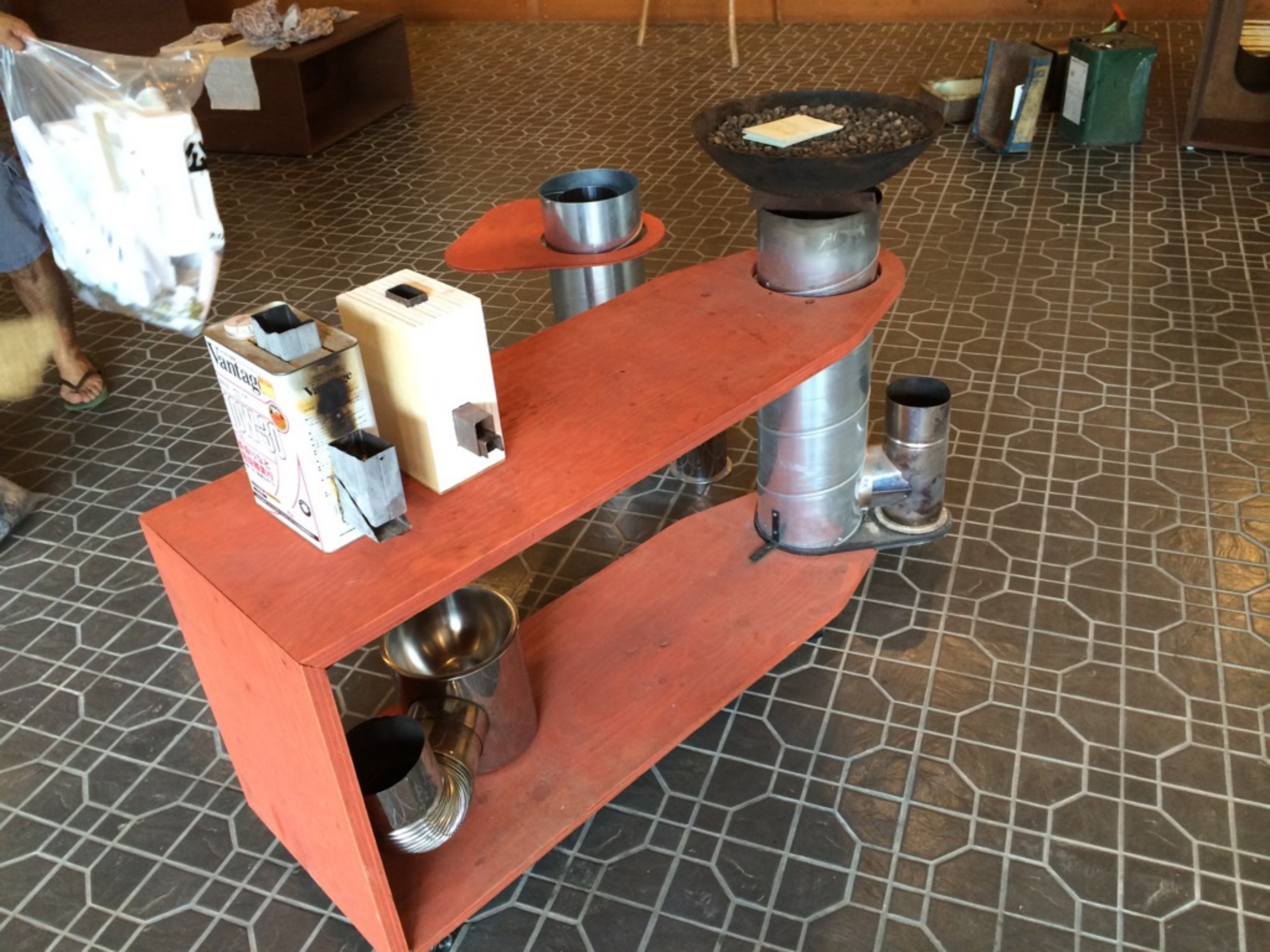
「塩野集落の特徴」

塩野集落の特徴は、河川沿いに形成された集落であり、河川の氾濫を防ぐために、河川沿いに堤防が築かれ、集落は堤防の内側に形成された。集落の中心には、河川沿いに形成された集落があり、集落の中心には、河川沿いに形成された集落がある。



塩野集落の位置







3. ヒュラノラ -空き家を居場所に-





111111

111111

111111

111111

111111

ZUMON
N
66-111111

ZUMON
N
66-111111

MATA
EGGS

S202

111111

111111

111111

百万店
07817-7-1111





















4. 地域をつなぐ道具

天川道具講 Event Schedule

8/1	金	10:00-	天川道具講 開催		
8/2	土	17:00-21:00	天川道具講 Opening Party 『七夕の寄り』		@ヒュラノラ (南日裏)
8/10	日	14:00-16:00	道具講レクチャー&シンポジウム 『日読む (カヨム) 暮らし』	講師：松村賢治 ゲスト：阪口正 阪岡悌 司会：locpump	@ギャラリーほのぼの (洞川)
8/23	土	15:00-18:00	道具講 Workshop 『へっついさんクッキング』	講師：森田久勝	@ヒュラノラ (南日裏)
8/24	日	13:00-16:00	道具講 Workshop 『Mobi-炉 DIY』	講師：locpump	@ギャラリーほのぼの (洞川)
9/6	土	14:00-16:00	道具講 Workshop 『ドラム缶炭窯ワークショップ』制作	講師：松村賢治	@森田さんの畑
9/7	日	10:00-12:00	道具講 Workshop 『ドラム缶炭窯ワークショップ』火入れ	講師：松村賢治	@森田さんの畑
9/7	日	14:00-16:00	道具講レクチャー&シンポジウム 『コミュニケーションを生む道具講 (考) 』	講師：松村賢治 太田博一 ゲスト：井頭東洋 阪岡悌 司会：locpump	@ギャラリーほのぼの (洞川)
9/7	日	17:00-18:00	道具講 Workshop 『ドラム缶炭窯ワークショップ』窯出し	講師：松村賢治	@森田さんの畑
9/13	土	10:00-17:00	道具講 Fieldwork 『塩野あるき』	案内：locpump	@塩野集落
9/14	日	13:00-17:00	道具講 Workshop 『みつばちクレヨン』	企画：locpump 山本美紀子	@ギャラリーほのぼの (洞川)
9/15	月	10:00-17:00	天川感電祭 - 山の佇まいを奏でる-	ゲスト：中西秀樹 中川浩佑 企画：locpump	@ヒュラノラ (南日裏)
9/23	火	17:00-21:00	天川道具講 Closing Party 『天川実り話』		@ヒュラノラ (南日裏)
9/27	土	-17:00	天川道具講 最終日		

ご予約・お問合せ：taroarch@gold.ocn.ne.jp (幸家)



へっついさんクッキング

民家展示スペースとして整備したヒユラノラに、へっついさんと呼ばれる直火の窯度が復活しました。

「へっついさんクッキング」では、天川村在住の自給農家 森田久勝さんを迎え、へっついさんを囲む暮らし、茶粥の作り方などを学び、季節の野菜を食しながら、今では少なくなった天川村の昔ながらの風景に触れていただけます。

森田さんによれば「直火で炊く茶粥は格別」だそうです。

日時：8月23日（土曜日）15：00～18：00

場所：ヒユラノラ（南日浦）

講師：森田久勝

進行：locpump

参加費：1000円











Mobi- 炉 DIY

ホームセンターで揃う材料の組合わせでつくる、携帯七輪「Mobi- 炉」の制作ワークショップです。

シンプルな構造ですが、炭の起こりや燃焼効率、火の持ちに優れていてアウトドアはもちろん室内利用も可能です。ワークショップで制作体験し、持ち帰ってそのまま使ってください。

日時：8月24日（日曜日）13：00～16：00

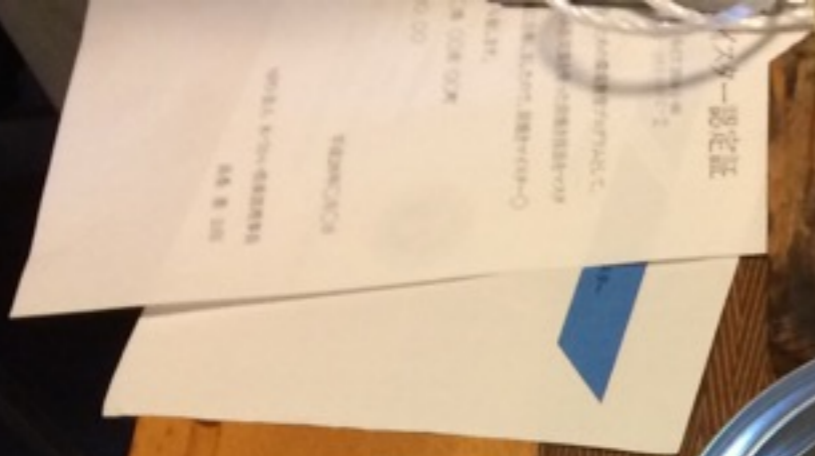
場所：天川村立資料館 ギャラリーほのぼの

講師：locpump

参加費：3000円













ドラム缶炭窯ワークショップ

炭には多様な用途があり、燃料としても備蓄が可能です。松村賢治氏の制作する、「改良ドラム缶炭窯」は、一般のホームセンターで市販されている材料で制作することができ、炭焼きに要する時間は一日と、性能面においても優れています。

今回のワークショップでは、炭窯自体の制作から、炭焼きまでの一連の流れを体験していただくことができます。

初日に炭窯の制作・設置作業、二日目に炭の火入れ・窯出しをおこないます。当日は雑木を炭にして、持ち帰っていただくことができます。

日時：9月6日（土曜日）14：00～16：00（炭窯制作）

9月7日（日曜日）10：00～12：00（火入）

9月7日（日曜日）17：00～18：00（窯出し）

場所：自給農家 森田久勝さんの畑

講師：松村賢治

参加費：1000円













みつばちクレヨン

天川村の阪口商店さんで採集されているハチミツ。そのハチミツを生み出すミツバチたちの住処、蜂の巣から、蜜蝋とよばれる余剰の成分が採取できます。今回の「みつばちクレヨン」は、そのわずかで貴重な蜜蝋を少し分けていただき、蜜蝋からクレヨンをつくるワークショップです。

ワークショップで作られた、天川産のみつばちクレヨンは、持ち帰って楽しんで使ってください。

日時：9月14日（日曜日）13：00～16：00

場所：ギャラリーほのぼの

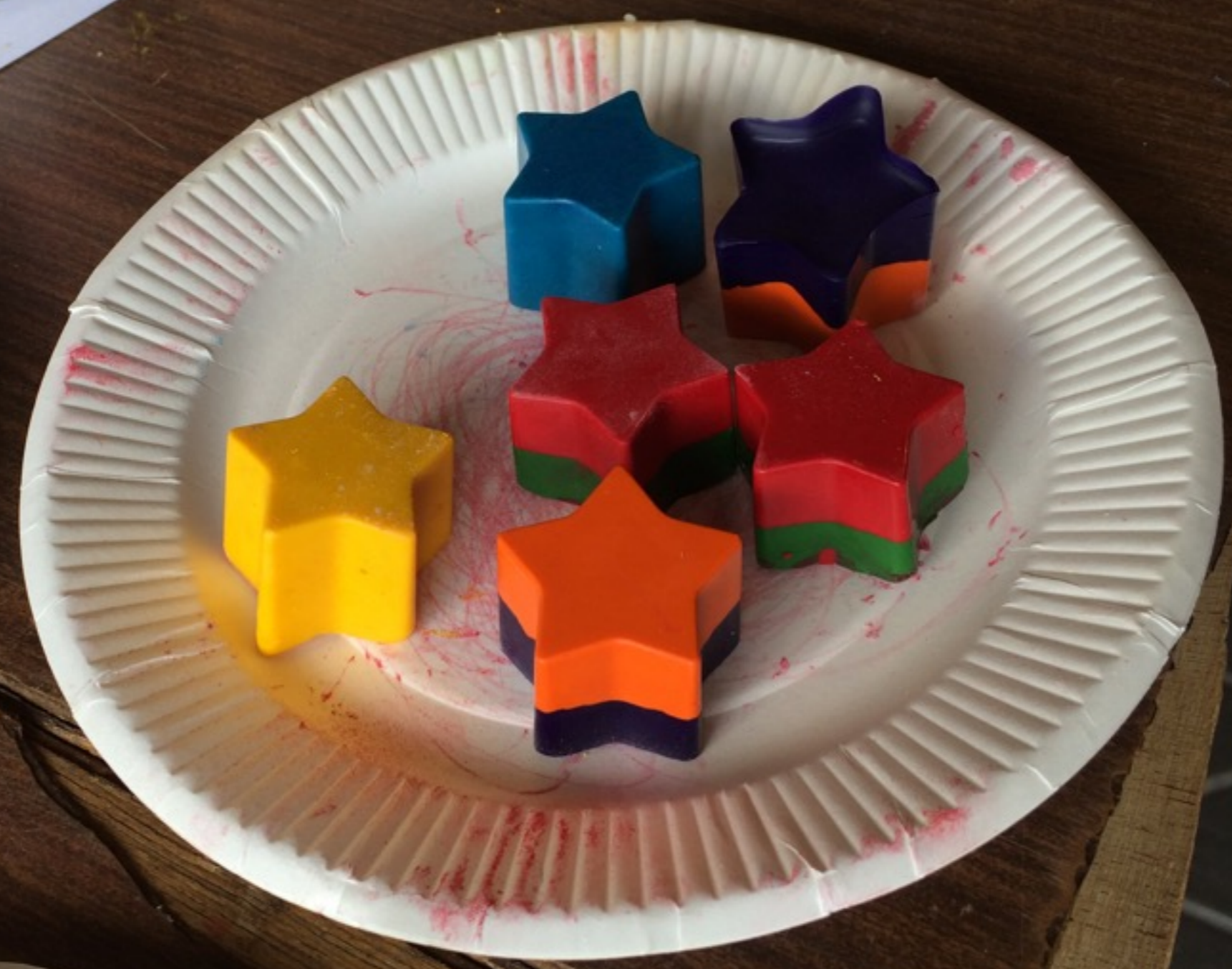
企画：locpump 山本美紀子

参加費：1000円









天川感電祭

山の佇まいを奏でる



人間は古来より自らの身体を活用し、音を鳴らしてきました。歌唱・拍手・口笛・足踏み・・・、さらにホーミーや声明のような、身体の器官（体自体）を振動させるものから、ディジュリドゥのような身体から木管へと音を拡張させるものなど、多種多様です。まさに身体を楽器（音を奏でる“道具”）として活用してきたといえるでしょう。また人間だけでなく、動物の声、水の流れ、虫の音、鳥の鳴き声、木が風に揺れる音など、自然界にも無数に、音を奏でる“道具”が存在します。

一方で今日、音を出力する“道具”としてオーディオが発展してきました。電子化された音の信号を、空気振動に変え、音を発することができます。

これらの道具を組み合わせ、ミックスし、新たな音を奏でる（人間・自然・環境・電気信号とが交流する）試み、それが「天川感電祭」です。

天川村山間の斜面に佇む民家「ヒュラノラ」のランドスケープを、思いのままに奏でてみましょう。民家の梁に弦を張るもよし、トタンをたたいてみるもよし、参加者各々が作り上げた（自然に見つけた）音源を素材として収録し、ループ音楽にのせてライブ・収録します。

自然の奏でる音と電気信号のミックスされた、とてもアンビエントな音色の中に浸かってみませんか。

日時：9月15日（月曜日）10：00～17：00

場所：ヒュラノラ（南日裏）

ゲスト：中西秀樹（弦楽器工房 SOL-ANEMO） 中川浩佑（中川弦楽器製作所）

企画：locpump

参加費：投げ銭







